

“Skype in the Classroom”: Skype を活用した普遍的なグローバル教育

— 滋賀県立米原高等学校 教諭 堀尾美央 先生 —

私の勤務している学校は自然豊かな環境の公立高校です。この取り組みは、本校の普通科英語コースの生徒たちに、海外の人たちと関わる機会を増やす目的で始めました。「教員の力と、どの学校でも用意できる設備だけでも実施できる、普遍的なグローバル教育の 1 つのあり方」を探求した実践です。

実践しようと思われたきっかけは何でしょうか？

初めてこの取り組みを思いついたのは、3 年ほど前、前任校に勤務していた時でした。生物の先生が、北海道にある旭山動物園の職員の方と、教室の生徒を Skype で繋いで生態系に関する授業を行なっておられるのを見て、「海外ともできるんじゃないかな、できたら面白いな」と思ったのが始まりです。

授業実践に活用された Microsoft Education のソーシャルネットワークサイト「Microsoft Educator Community」とはどういったもの（あるいは特徴）ですか？具体的にどのようなサービスを受けられるのでしょうか。なぜ、このサイトを活用するに至ったのでしょうか？

初めての Skype 交流は、NPO 法人 Colorbath という団体 (<http://color-bath.jp/>) に斡旋してもらったケニアの学校と行なったのですが、その後、他の国と交流できないかとインターネットで探したところ、このサイトに行き着きました。

Microsoft Educator Community (<https://education.microsoft.com/>、以下 MEC) は、ざっくりいうと、Microsoft の教育部門、Microsoft Education が運営している、教育者向けのソーシャルネットワークサイトです。世界中で先生方をはじめ、ICT を活用して教育に携わっている方々が登録されています。

私は、このサイトの Skype in the Classroom というセクションを活用しています。ここには、Skype Lesson、Skype Collaboration、Virtual Field Trip、Mystery Skype、Guest Speaker といった項目があります。Skype Lesson、Guest Speaker、Skype Collaboration の項目では、Skype で海外の先生あるいは教室や、著名団体と接続することができ、授業に参加してもらったり、授業で学んだことを深めたりできます。私の学校でも、以前授業で、ボルネオ島の森林伐採についての英文を読んだことがあります。その後、実際にボルネオ島にある学校の先生と接続し、現地の声を聞くことで、より深い学びに繋げることができました。

中でも、Mystery Skype は 1 番活用しています。Skype での交流を希望されている先生方が登録されていて、海外の学校とのコネクションが作れます。よく質問されるのが信頼性の部分ですが、確かに誰でも登録できるサイトなので、全員が全員、本当に教育に携わっているかと言われると、正直不安はあります。1 つの判断基準は、Microsoft Innovative Educator Expert (日本語名：マイクロソフト教育イノベーター、以下 MIEE) のバッジが表示されているかどうかです。MIEE は、各国の Microsoft 支社に応募をして、各国の Microsoft 教育部門が直接認定した学校関係者です。もちろん、MIEE でなくても、しっかりとした学校関係者の方もおられます。

授業実践に際し、何から準備を始めたら良いか、具体的に準備に必要なスケジュール、関係者との調整、資材（教材・設備）、留意点等について教えてください。

まずは、Skypeができる環境を整えます。インターネットに接続できて、Skypeがインストールされたウェブカメラ内蔵のノートPC（あるいは、ウェブカメラに接続できるデスクトップPC、または、SkypeをインストールしたiPadなどのタブレットPC）と、大人数で取り組む場合はスピーカーと、投影できるプロジェクターとスクリーンあるいは電子黒板が必要です。

相手はMECのサイトで見つけられますが、実施までには時差の調整や、Skypeの接続状況、オーディオ機器の状況の確認をするために、相手の先生とメールなどでやり取りをする必要があります。取り組みを始めた当初は、大体2～3週間ほどかけて、相手の先生とやり取りをしたり、Skypeのテスト接続をしたりしていました。一番必要なのは相手の先生との打ち合わせなので、今でもできる限り多くやり取りをするようにしています。

MECのSkype Lessonの中には、Mystery Skypeの取り組み方や、Skypeの活用法を紹介するSkype Lessonがいくつかあります。欧米の先生方を中心に、私もアジア向けに展開させてもらっていて、これまでインドやマレーシアの先生をはじめ、数名ですが日本の先生方にも紹介させてもらっています。以下に載っています。もちろん無料です。<https://education.microsoft.com/guidelessons>

留意点は、やはりセキュリティ面への配慮です。インターネットで学校外、それも国外の人と接続するので、情報管理には十分気をつけないといけません。ですので、学校のネットワークとは完全に切り離したPCを使って行います。

高校3年生の英語コースでの実践例をご紹介いただきましたが、他の教科・校種でも応用もできると思われますか？

可能だと思います。ただ、進め方や方法はアレンジする必要があると思います。Mystery Skypeは、やり方次第では小学校中学年～高学年でも可能だと思います。中学校では実際に取り組まれた例も聞いています。

英語、かつ非英語圏の人達の訛りのある英語にも対応できるなら、他教科での応用も可能だと思いますが、日本側の先生も英語を話せる必要があります。

このような実践をしたい先生方が持つべき「教員の力」とはどういったものでしょうか？アドバイスなどいただけますでしょうか。

「英語力」「コミュニケーション能力」「柔軟性」「粘り強さ」「冷静さ」だと思いますが、これは教員というより、海外の人と協力して何かをする時にも必要な力だと思います。生徒に挑戦する姿勢を見せる意味で、「チャレンジ精神」も大事だと思います。

今後、Skypeを使って授業展開を検討したいと考えておられる先生方へ、メッセージをいただけますか。

準備は少し大変ですが、Skypeが繋がった瞬間から教室の中は異空間のようになり、この雰囲気が私はものすごく好きです。思いついた当初は理想でしかなかったのですが、ちょっとしたことから部活動や有志を集めて実現することができました。世界は広いようで狭く、遠いようで近く、いろんな可能性が隠されていると思います。授業への導入は不安がある場合も、興味を持たれたらぜひ1度、単独でやってみてください。